

りりイ 私は泣いています

I am crying

りりイ 齊藤洋士

高橋和也 根岸季衣 山崎ハコ JUON 寺本幸司
研ナオコ 深沢剛 谷口幸生 豊川悦司 岩井俊二

企画・監督・撮影:高岡賢治 構成・録音・編集:熊谷達文 警音:光地拓郎・山本逸美・田中修一
タイミング:株式会社サウンドデザインユルタ スーパーバイズ:寺本幸司・万代博実
映像提供:日本映画放送株式会社・株式会社TBS 配給協力:村岡克彦・神原健太郎
制作:SOHO FILMS 2023年/日本/カラー/16:9/108分

りりイとはなんだったのか
彼女を失った者たちの
想いを紡ぐドキュメンタリー



りりイの貴重なライブ映像と
豪華なゲストが語る想い出



高橋和也・根岸季衣・山崎ハコ・JUON・寺本幸司
研ナオコ・深沢剛・谷口幸生・豊川悦司・岩井俊二が協力

64歳でこの世を去るまで、シンガーソングライターとして、女優として活動し続けたりりイ。映画撮影監督の高間賢治はその「りりイ+洋土」のライブを見て感動、10年撮り続けようとライブ公演を独力で記録。しかし、りりイの体調悪化により2015年に中断を余儀なくされる。映像は数年間放置されたが、熊谷達文の編集により《りりイに会いたい》というDVDに結実し、ユニバーサルミュージックから発売された。本作は今なお輝きを放つ歌声のライブ映像に加え、生前りりイと交流のあった研ナオコ、豊川悦司、岩井俊二ら関係者、りりイを発掘した音楽プロデューサー寺本幸司の証言映像を交えて、在りし日のりりイの音楽性・人物像とその魅力を浮き彫りにする。またこの作品は、愛するパートナーを失い、絶望、挫折、果てしない喪失感を乗り越えようと苦闘する一人の男(齊藤洋土)の物語ともなった。

りりイ (1952年2月17日～2016年11月11日)

16～7歳から新宿を中心に路上ライブを重ね、1972年20歳でアルバム「たまねぎ」でメジャーデビュー。シングル「私は泣いています」が87万枚を越える大ヒット。資生堂春のキャンペーンに採用された「オレンジ村から春へ」「心が痛い」など多くのヒット曲がある。また女優としては『夏の妹』(72/大島渚監督)や『処刑遊戯』(79/村川透監督)などに出演するが80年代半ばよりしばしば活動休止。1997年のドラマ「青い鳥」をきっかけに数々の映画、ドラマに出演。『パークアンドラブホテル』(07/熊坂出監督)では主演を果たし、岩井俊二監督作品『リップヴァンウィンクルの花嫁』(16)では高崎映画祭助演女優賞を受賞した。1999年からは齊藤洋土とユニットを組み「りりイ+洋土」としてライブ活動を続け、『火火』(高橋伴明監督)の主題歌を提供するなど活動を広げていた。



6/1 より 10 時の回 6/8 より 18 時の回

横浜市中区長者町 6-95
045-341-3180

横浜シネマリン (初日に監督舞台挨拶+齊藤洋土ミニライブ予定)